For Earth, For Life

Kubota

ぐっぴーバズーカ

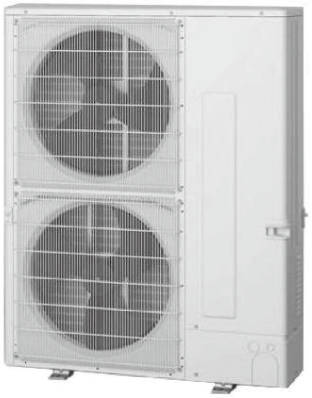
ハウス栽培用ヒートポンプ空調 **冷媒R410A対応**

取扱説明書

形名

KBHP-GP180-T
KBHP-GP180-TH
KBHP-GP112-S
KBHP-GP112-SH

KBHP-GP180-T（ツインタイプ）
KBHP-GP180-TH（ツイン・ハッチ式タイプ）



KBHP-GP224(室外機)

GI-P112(室内機)×2

KBHP-GP112-S（シングルタイプ）
KBHP-GP112-SH（シングル・ハッチ式タイプ）

KBHP-GP140（室外機）

GI-P112(室内機)

●お使いになる前に

安全のために必ずお守りください ……**2**
各部のなまえ ……**4**

●運転のしかた

運転モードの切換、室温・風速調節のしかた ……**6**
自動運転のしかた ……**7**
その他の表示・点滅について ……**7**
ハッチ式タイプについて ……**7**
各種設定操作 ……**8**
もっと知りたいとき ……**31**

●お手入れのしかた・困ったときに

「故障かな?」と思ったら……**34**
お手入れのしかた ……**34**
長期間ご使用にならないとき ……**35**
移設・工事について ……**35**
保証とアフターサービス ……**36**
修理窓口・ご相談窓口のご案内 ……**37**
仕様 ……**38**

このたびはぐっぴーバズーカをお買いもとめいただきまして、まことにありがとうございます。

- ●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この説明書を必ずお読みください。
- ●お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管ください。
- ●保証書は「お買上日、販売店名」などの記入をお確かめの上、大切に保管ください。
- ●お使いになる方が代わる場合には必ず本書と据付工事説明書及び保証書をお渡しください。
- ●お客さまご自身では据付・移設をしないでください（安全や機能の確保ができません）。

YBG03-00243　改定　2014.7.1

● お使いになる前に 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■"図記号"の意味は次のとおりです。

禁　止	アース線接続
指示を守る	水ぬれ禁止
ぬれ手禁止	

⚠ 警　告

長時間直接お肌に風をあてない
健康を損なう原因になります。
禁　止

お客さま自身で分解・据付け・修理・移設・廃棄はしない
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。お買上げの販売店にご相談ください。
分解・据付け・修理・移設・廃棄禁止

リモコンを水洗いしない
リモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電・発火の原因になります。
水ぬれ禁止

濡れた手で電源スイッチを操作しない
感電の原因になります。
濡れ手禁止

運転中にファンハッチを開かない（ハッチ式タイプ室内ユニットの場合）
ファンや機器内部の高温部との接触による、ケガややけどの原因になります。また、機器故障の原因となります。
禁　止

異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る
異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。
また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買上げの販売店にご連絡ください。
電源を切る

清掃及びメンテナンス作業時には運転を止め、電源スイッチを切る
ファン及びファンモーターへの接触によるケガや感電の原因になります。
電源を切る

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない
特にお子さまにご注意を!
内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。
禁　止

万一冷媒が洩れても限界濃度を超えないよう換気対策を行う
冷媒が洩れると、酸欠事故の原因になります。
お買上げの販売店にご相談ください。
換　気

⚠ 注　意

粉が浮遊する作業場等では使用しない
粉じんなどにより機器の故障や発煙に至ることがあります。
または健康を損う原因にもなります。
禁　止

室内ユニットのファンにさわらない
ケガの原因になります。
禁　止

栽培用途以外には使用しない
精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しない。
品質低下の原因になります。
使用禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない
火災・変形の原因になります。
使用禁止

吹出口の近傍にスプレー缶などを置かない
室内・外ユニットからの温風によりスプレー缶などが爆発する恐れがあります。
禁　止

リモコンを先がとがった物で押さない
故障の原因になります。
禁　止

エアコンの近くで火気（調理器具など）を使用しない
熱により、エアコンが変形したり、発火する原因になります。
使用禁止

直接風のあたる所に燃焼器具を置かない
不完全燃焼や熱によるエアコン変形の原因になります。
設置禁止

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない
冷房時、多湿（湿度80%以上）時の長時間運転及びホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、ハウス内などを濡らし汚損の原因になります。
設置禁止

作物に直接風を当てない
作物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する
酸素不足の原因になります。
換　気

室内・外ユニットの周辺に、物を置かない、落ち葉がたまらないようにする
落ち葉などがあると小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。

冷房時、相対湿度が80%RHを超える環境では、室内ユニットに結露し、露が落下する場合があります。また、室内ユニットにさびや膨潤が発生する場合があります。

⚠ 注　意

室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない
落下･転倒によるケガの原因になります。

運転中に冷媒配管に触れない
素手で触れると凍傷や、やけどになる恐れがあります。

土埃が上がる作業を行うときはエアコンを停止し、シートなどで覆う
土埃がエアコン内部に入ると性能が低下したり故障の原因になります。

リモコンを雨や散水風にさらさない
水が浸入して感電の原因になります。

硫黄系の農薬散布またはくん蒸は行わない 高温雰囲気に放置しない
エアコンの腐食、ガスもれなど故障の原因になります。

据付台などがいたんだ状態で放置しない
ユニットが落下･転倒し、ケガなどの原因になります。

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る
運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

農薬散布を行うときには エアコンに農薬などが付着しないよう、シートなどで覆い、停止する
農薬や農薬などから発生するガスが付着すると腐食、変形の原因になります。また、農薬などが飛散し危険です。

農薬散布をしたあとには必ず換気をし、農薬や農薬などから発生したガスを充分排気してから、運転する
農薬や農薬などから発生するガスが付着したり、吸い込んだりするとエアコンの腐食、変形の原因になります。

油焚暖房機などとの併用をおすすめします
外気温低下に伴って暖房能力が不足し、栽培ハウス内の気温が低下する可能性があります。

据付時　次の項目をご確認ください。

⚠ 警　告

据付けは、お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください

漏電遮断器を取付ける
取付けていないと、感電の原因になります。

元電源の取付位置を確認する

据付や移設などの場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。
- 空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。

当社指定の冷媒(R410A)以外は絶対に封入しない。
- 法令違反の可能性や、使用時･修理時･廃棄時などに、破裂･爆発･火災などの発生の恐れがあります。
- 封入冷媒の種類は、機器付属の説明書あるいは銘板に記載されています。
- それ以外の冷媒を封入した場合の故障･誤動作などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。

室内･室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること
ユニットの落下･転倒などによりケガの原因になります。

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する
異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災･故障の原因になります。

リモコン付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所、湯･油･蒸気が飛散しリモコンに掛かるところには取付けない

使用される別売部品は当社指定品であること
別売部品は、必ず当社指定のものであること。
お客さまご自身で取付け不備があると、感電･火災･水漏れなどの原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。

リモコンに強い日差しを当てない
プラスチック部品の変形･破損･傷み･変色が生じる場合があります。

⚠ 注　意

可燃性ガスの発生･流入･滞留･洩れの恐れのある場所へは据付けない
万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火･爆発の原因になります。

ドレン配管は確実に行う
配管工事に不備があると水漏れし、ハウス内を濡らす原因になります。

アース工事を行う
アース線は、ガス管･水道管･避雷針･電話のアース線に接続されていないこと。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

●冷媒(フロンガス)についてのご注意
このエアコンには、不燃性･非毒性･無臭の冷媒を使用していますが、これが洩れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いため、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。
(冷媒が洩れたときの処置)
万一冷媒が洩れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして充分換気を行ってください。その後、お買上げの販売店にご連絡ください。

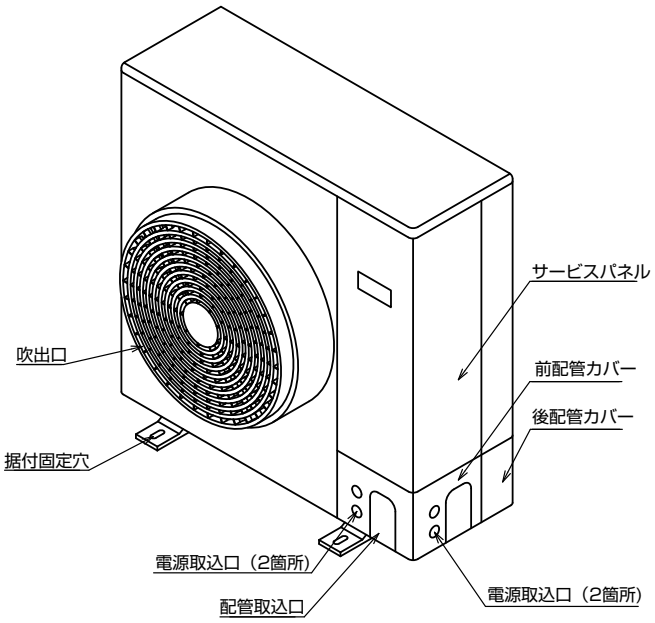
●次の場所への据付けは避けてください
- 可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ
- 硫黄系ガス･塩素系ガス･酸･アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- 機械油を使用するところ
- 車輌･船舶など移動するものへの設置
- 高周波を発生する機械を使用するところ
- 化粧品･特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 積雪の多いところ

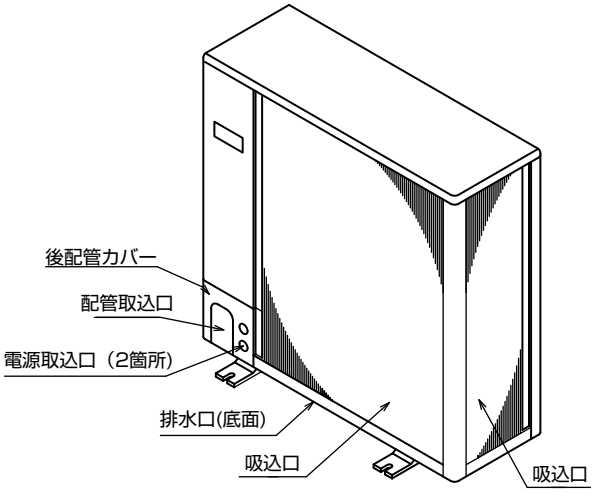
(このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。)

各部のなまえ

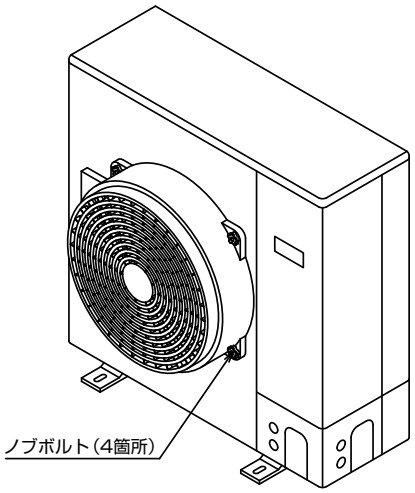
室内ユニット

GI-P112（ハッチなしタイプ）





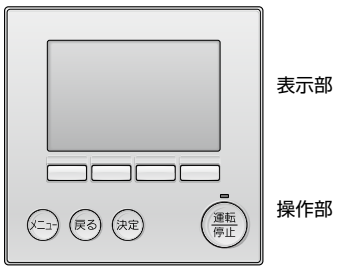
GI-P112（ハッチ式タイプ）



各部のはたらき

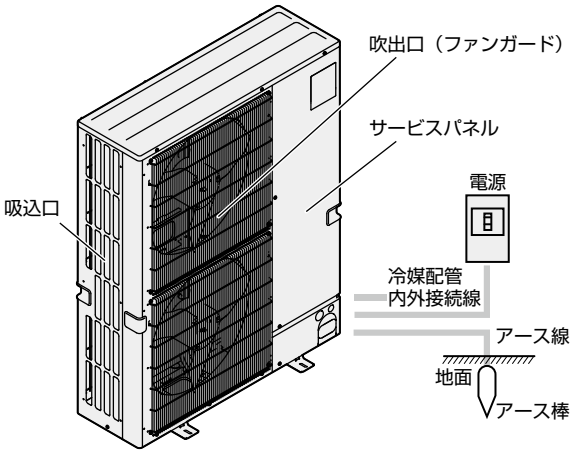
排水口	冷房運転時に取り除かれた室内の水分を排出します。
吹出口	冷房運転時には冷風を、暖房運転時には温風を吹き出します。
吸込口	室内の空気を吸い込む部分です。

リ モ コ ン



標準多機能ワイヤードリモコン
（MAスマートリモコン）

室外ユニット

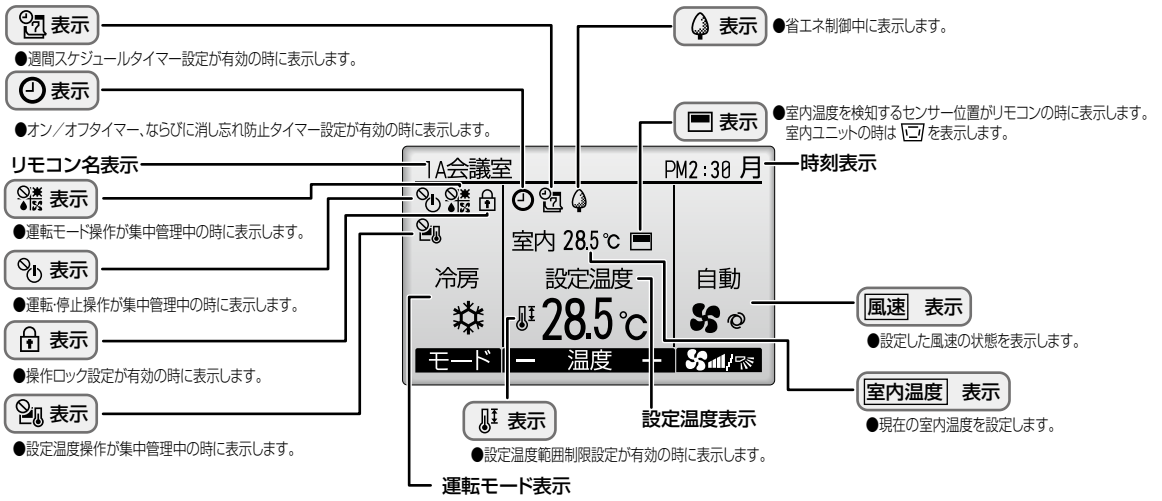


標準多機能ワイヤードリモコン（MAスマートリモコン）

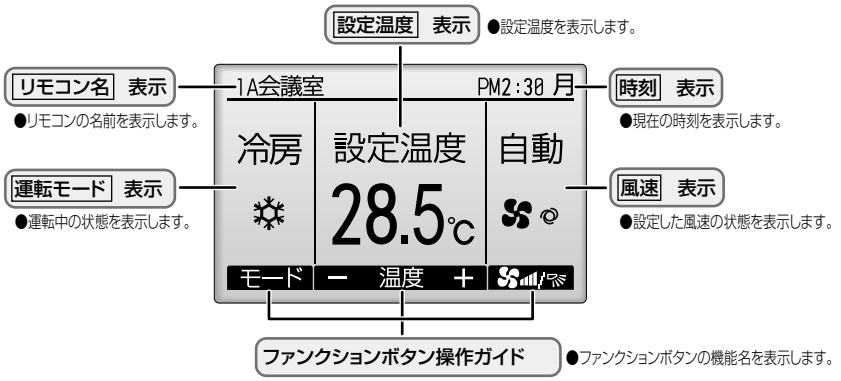
表示部

■説明のためすべての表示内容を示しています。
■表示部は「詳細」と「簡易」の2種類があります。初期設定は詳細画面表示となっています。

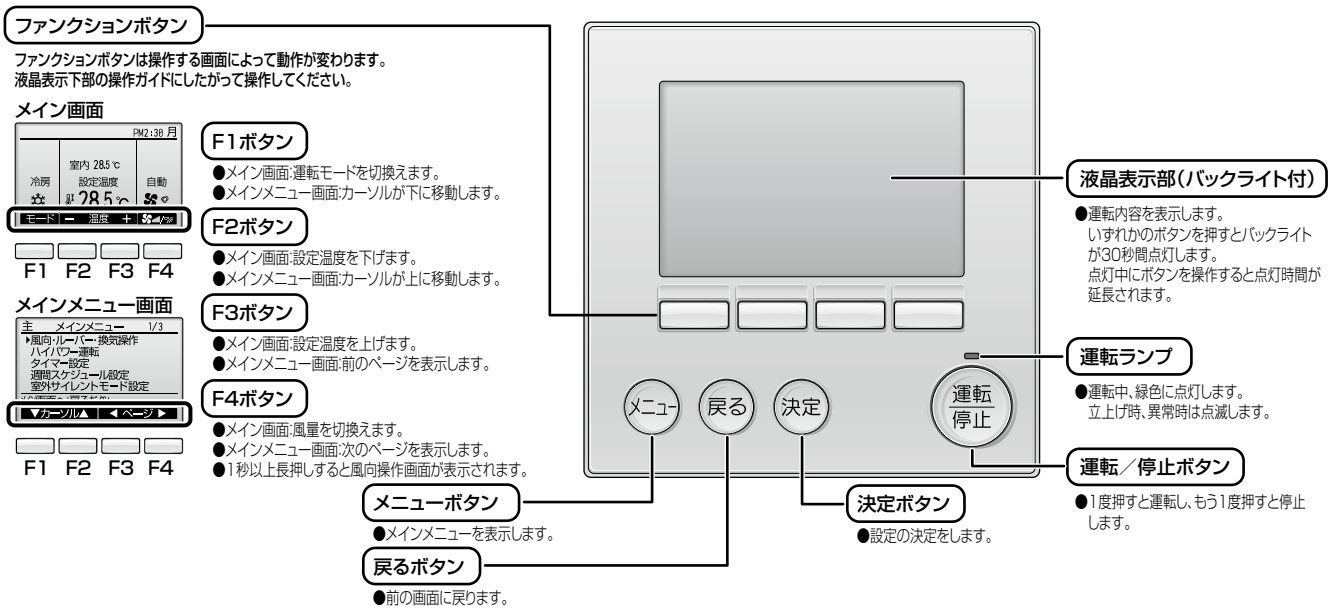
詳細画面



簡易画面



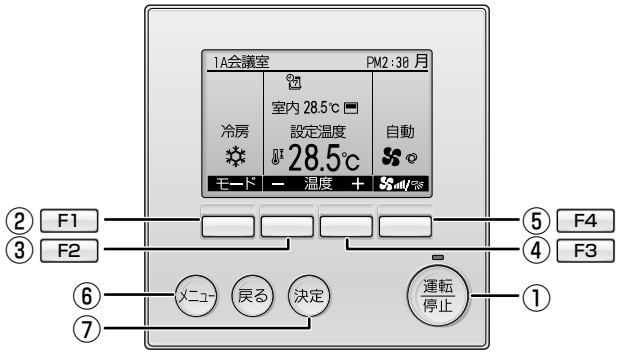
操作部



■バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。バックライトのみ点灯します。（運転／停止ボタンは除く）
■基本運転（運転／停止、運転モード切換、風量調節、温度設定）以外はメニュー画面からの設定となります。

● 運転のしかた 運転モードの切換、室温・風速調節のしかた

運転開始の前に… 電源が入っているか確認してください。停電や電気工事また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。



運転モード表示

冷房　送風　暖房　自動

運転の開始、運転モードを選ぶとき

1 ボタン①を押す。 運転停止 → 運転ランプと表示が点灯します。

2 ボタン②を押す。 F1

●1回押すごとに設定が切換わります。

冷房 ➡ 送風 ➡ 自動 ➡ 暖房

設定温度を変えたいとき

室温を下げたいとき　F2　ボタン③を押す。

室温を上げたいとき　F3　ボタン④を押す。

● 1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
● 設定温度範囲は次の通りです。※1

冷房運転	暖房運転	送風	自動運転
10～30℃	10～28℃	設定できません	10～28℃

※1 設定温度範囲制限が設定されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。(設定温度範囲制限中は が表示されます。)
範囲を超えて設定しようとした場合、"設定温度制限中"が点滅表示され、制限中であることが表示されます。くわしくは、リモコンの取扱説明書をご覧ください。

風速を変えたいとき

ボタン⑤を押す。　F4

●1回押すごとに設定が切換わります。

	風 速	
KBHP-GP180-T	2段階	(定格) → (強)

お 知 ら せ

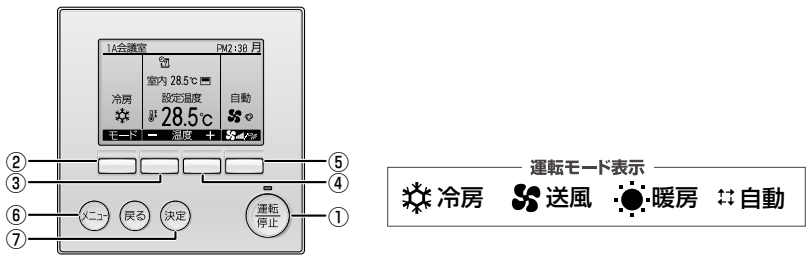
■このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
●"暖房準備中"・"暖房霜取中"表示のとき
●暖房運転直後(モード切換待機中)
●暖房モードで設定温度より室温が高いとき

運転を停止するとき

ボタン①を押す。 運転停止

⚠ 注 意 運転停止後、すぐに電源を切らないで必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因となることがあります。

自動運転のしかた



自動運転を行うとき

1 ボタン①を押す。

2 ボタン②を押す。

運転停止

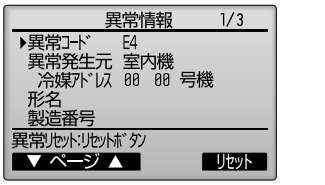
F1 表示を 自動 にする。

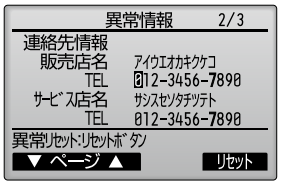
自動運転
10～28℃

設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。(12ページ参照)
運転モードが確定した後に、現在の運転モード[自動冷房]、[自動暖房]が表示されます。
尚、リモコンの初期設定で、「自動冷暖表示:しない」に設定変更されている場合には、"冷房"、"暖房"は表示されません。([自動]の表示のみ)
(リモコンの初期設定については、リモコンの据付工事説明書(設定編)を参照してください。)

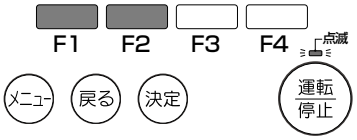
その他の表示・点滅について

●「運転ランプ」が点滅し液晶画面に異常情報が表示されている場合は空調機に障害が発生しているため、運転を継続できずに停止しています。
異常内容をご確認の上、空調機の電源を切り、お買い上げの販売店、または工事店にサービスをお申しつけください。





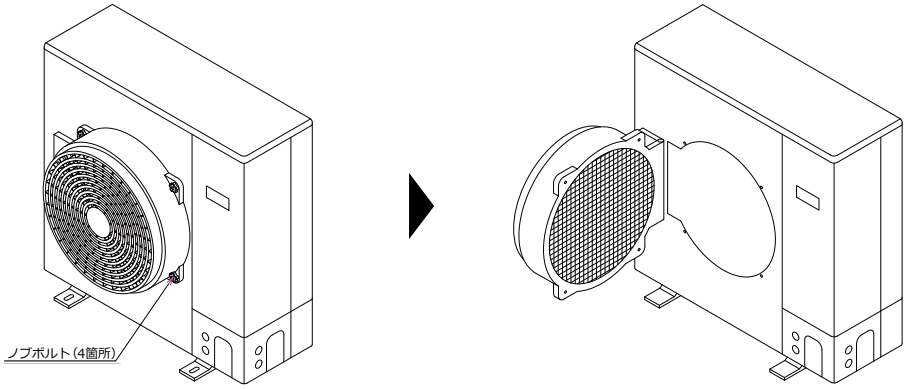
連絡先情報はあらかじめ入力されている場合に表示されます。



異常コード、冷媒アドレス、形名、製造番号が表示されます。
形名、製造番号はあらかじめ入力されている場合に表示されます。
F1 F2 ボタンで次のページを表示します。

ハッチ式タイプについて

ノブボルト(4箇所)を外すことにより、ファンを外側に開くことができ、内部の清掃、メンテナンスが行えます。
※ファンを開く際には、必ず機器の運転が停止していることを確認してから開けてください。



各種設定操作

画面の流れ

メイン画面

メニューボタンを押します。

F1 F2 ボタンで選択し、決定ボタンを押します。

- 風向・ルーバー・換気設定 ---------- 対応していません
- ハイパワー運転 ---------- 対応していません
- タイマー設定
  - オン/オフタイマー ------ 13ページ参照
  - 消忘れ防止タイマー ----- 15ページ参照
- 週間スケジュール設定 ---------- 17ページ参照
- 室外サイレントモード設定 ---------- 対応していません
- 制限設定
  - 設定温度範囲制限 ------ 19ページ参照
  - 操作ロック ---------- 21ページ参照
- 省エネ設定
  - 設定温度自動復帰 ------ 22ページ参照
  - 省エネ運転スケジュール ----- 24ページ参照
  - パワーシェア運転 -------- 対応していません
- 自動清掃設定 ---------- 対応していません
- フィルター情報 ---------- 対応していません
- 異常情報 ---------- 32ページ参照
- CO_2排出量表示 ---------- 対応していません
- メンテナンス ---------- 対応していません
- 初期設定
  - 主従設定 ---------- 26ページ参照
  - リモコン名称設定 ------- 26ページ参照
  - 時刻設定 ---------- 12ページ参照
  - メイン画面表示設定 ------ 27ページ参照
  - コントラスト調整 ------- 28ページ参照
  - リモコン表示設定 ------- 29ページ参照
  - 自動モード設定 -------- 対応していません
  - CO_2表示設定 --------- 対応していません
  - 管理者用パスワード登録 --- 30ページ参照
- サービス ---------- サービスマン用メニューですので選択しないでください
- Q&A ---------- 34ページ参照

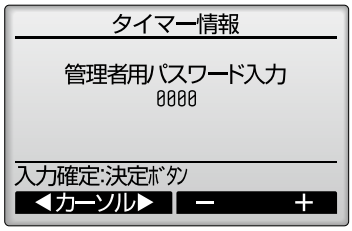
使用方法

タイマー設定 (P)

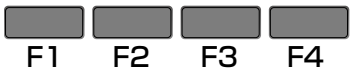
取扱説明書内にマークがある時、以下の内容を表しています。

(P)

設定を変更する場合、管理者用(またはサービス用)パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。



F1 ボタン:カーソルが左に移動します。
F2 ボタン:カーソルが右に移動します。
F3 ボタン:数字を1減らします。
F4 ボタン:数字を1増やします。



※パスワードがわからない場合、異なった場合は設定変更できません。

主

主リモコンのみ操作することができます。

運

運転中にのみ操作することができます。

停

停止中にのみ操作することができます。

冷暖

冷房･暖房･自動運転中のみ操作することができます。

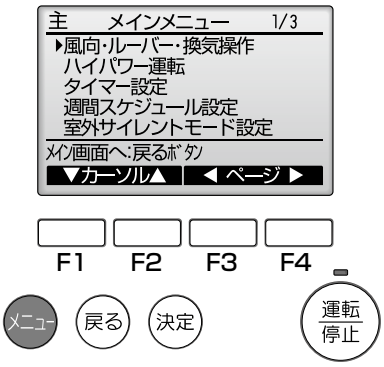
操作ロック中、集中管理中に操作することができません。

使用方法-メニュー操作

メインメニュー画面での操作のしかた

操作方法

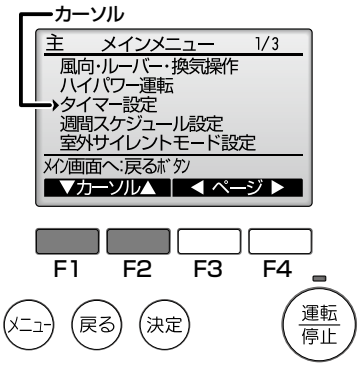
画面表示



メニュー ボタンを押します。

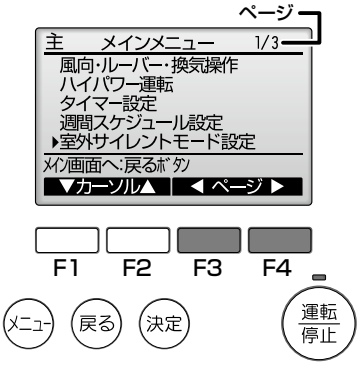
メインメニュー画面が表示されます。

項目選択



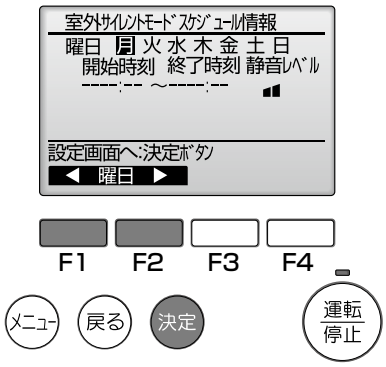
F1 ボタンでカーソルが下がります。
F2 ボタンでカーソルが上がります。

ページ移動



F3 ボタンで前のページを表示します。
F4 ボタンで次のページを表示します。

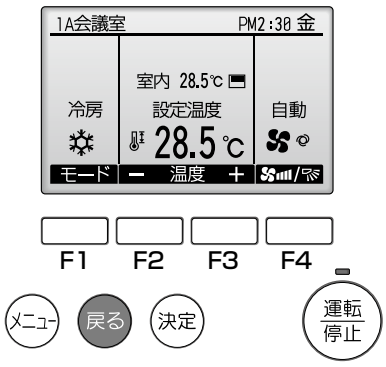
決定



ご希望の項目を選択し、決定 ボタンを押します。

選択した設定画面が表示されます。

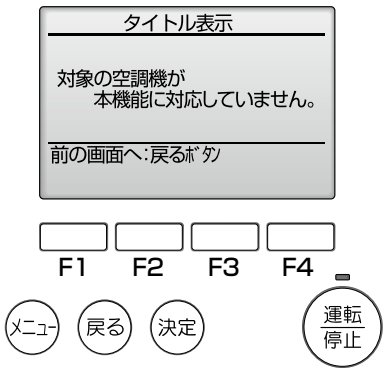
戻る



メインメニュー画面からメイン画面に戻るには
戻る ボタンを押します。

各項目の設定途中で約10分間ボタン操作がない場合、自動でメイン画面に戻ります。
このとき設定途中の内容は無効となります。

機能未対応



メニュー項目の選択操作を行った時、対象の室内ユニットが機能に対応していない場合、左記メッセージ画面を表示します。

使用方法-各種設定操作

時刻設定

操作方法

1

メインメニュー画面（10ページ参照）で「初期設定」を選択し、決定ボタンを押します。

以下の設定には時刻設定が必要です。

- ■オン / オフタイマー設定
- ■週間スケジュール設定
- ■省エネ運転スケジュール

2

F1 F2ボタンで「時刻設定」を選択し 決定ボタンを押します。

3

F1 F2ボタンで「年」「月」「日」「時」「分」のうち、変更したい項目を選択します。

F3 F4ボタンで現在の日時に変更し、決定ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- ■メインメニュー画面へ戻る…メニューボタン
- ■前の画面に戻る…戻るボタン

使用方法-各種設定操作

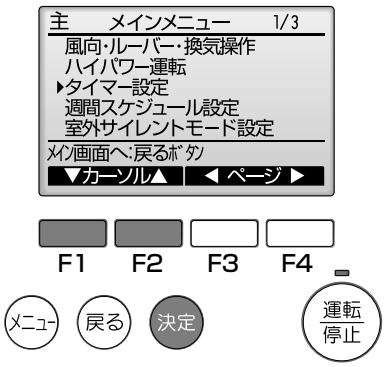
タイマー設定

主 P

オン / オフタイマーの設定方法

操作方法

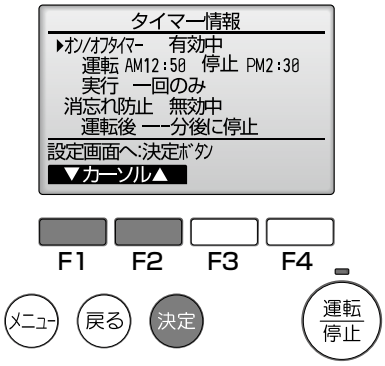
1



メインメニュー画面（10ページ参照）で「タイマー設定」を選択し、決定ボタンを押します。

以下の場合、オン/オフタイマー設定は実行されません。
オン/オフタイマー無効中／異常中／点検中（サービスメニュー内）／試運転中／リモコン診断中／時刻未設定／機能選択中／集中管理中（運転/停止が禁止の場合）

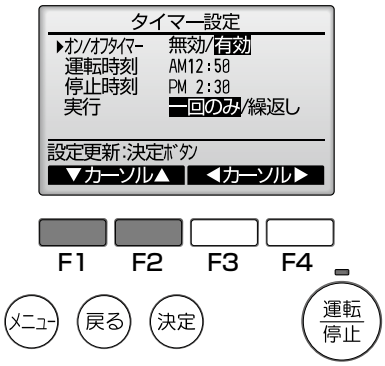
2



現在の設定状況が表示されます。

タイマー情報画面で「オン/オフタイマー」を選択し、決定ボタンを押します。

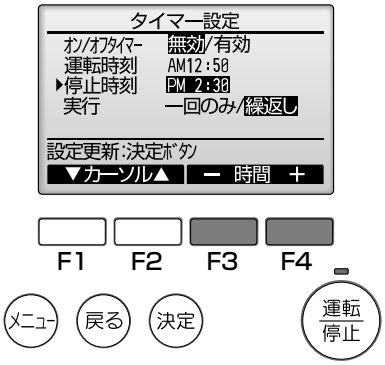
3



タイマー設定画面が表示されます。

F1 F2 ボタンで「オン/オフタイマー」「運転時刻」「停止時刻」「実行」のうち、変更したい項目を選択します。

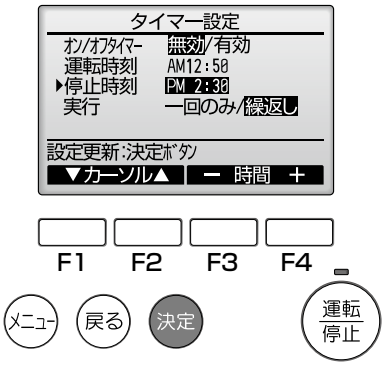
4



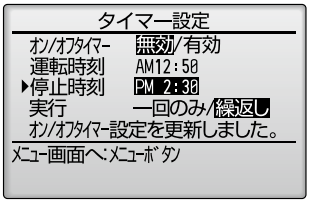
F3 F4ボタンでご希望の設定に切換えます。

■オン/オフタイマー　「無効」「有効」
■運転時刻　5分単位で設定
※ボタンを押し続けると連続で数字が変わります
■停止時刻　5分単位で設定
※ボタンを押し続けると連続で数字が変わります
■実行　「一回のみ」「繰返し」

5

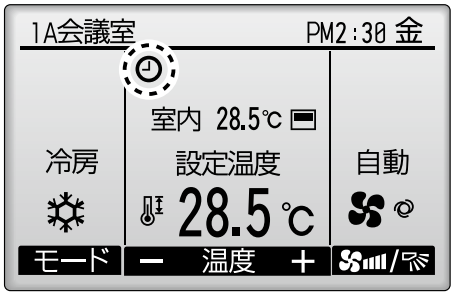


ご希望の設定に切換えた後、決定ボタンを押します。



設定確定画面が表示されます。

画面移動方法
■メインメニュー画面へ戻る…メニューボタン
■前の画面に戻る…戻るボタン



オン/オフタイマー設定が有効の時、詳細メイン画面に「🕘」が表示されます。

使用方法-各種設定操作

タイマー設定

主 P

消忘れ防止タイマーの設定方法

操作方法

1

タイマー設定画面を表示します。
（13ページ参照）

タイマー設定画面で「消忘れ防止」を選択し、
決定 ボタンを押します。

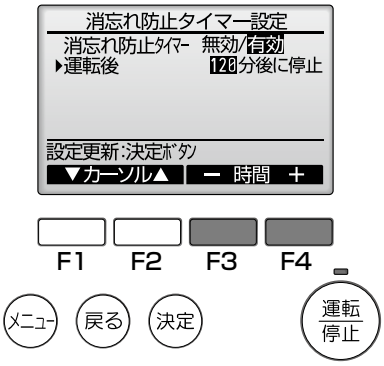
以下の場合、消忘れ防止タイマー運転は実行されません。
消忘れ防止タイマー無効中／異常中／点検中（サービスメニュー内）／試運転中／リモコン診断中／機能選択中／集中管理中（運転/停止が禁止の場合）

2

現在の設定状況が表示されます。

F1 F2 ボタンで「消忘れ防止タイマー」
「運転後」のうち、変更したい項目を選択します。

3

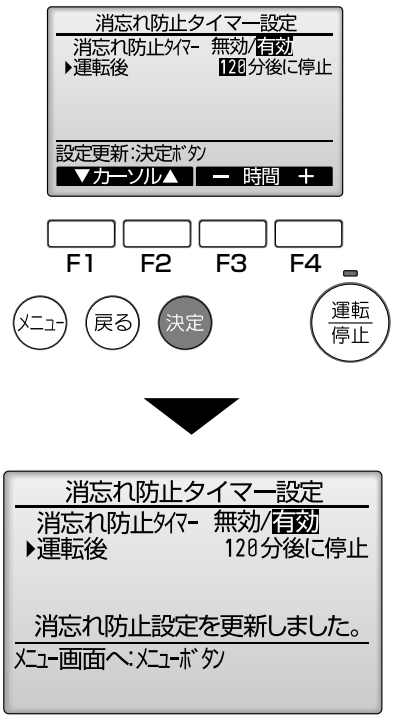


F3 F4 ボタンでご希望の設定に切換えます。

■消忘れ防止タイマー　「無効」「有効」

■運転後　設定範囲：30～240分
10分単位で設定

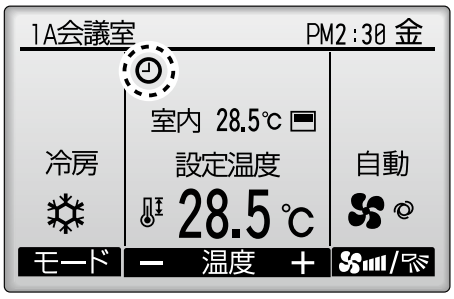
4



ご希望の設定に切換えた後、決定ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

画面移動方法
■メインメニュー画面へ戻る…メニューボタン
■前の画面に戻る…戻るボタン



消忘れ防止タイマー設定が有効の時、詳細メイン画面に「 」が表示されます。

使用方法-各種設定操作

週間スケジュール設定

主 P

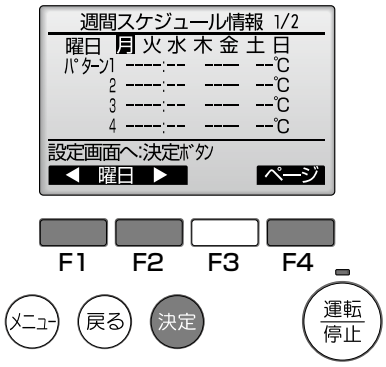
操作方法

1

メインメニュー画面（10ページ参照）で「週間スケジュール設定」を選択し、決定ボタンを押します。

以下の場合、週間スケジュール運転は実行されません。
オン / オフタイマー有効中／週間スケジュール無効中／異常中／点検中（サービスメニュー内）／試運転中／リモコン診断中／時刻未設定／機能選択中／集中管理中（禁止中の項目［運 転 / 停止、設定温度］に該当する設定内容は実行されません。）

2



現在の設定状況が表示されます。

F1 F2 ボタンで月～日曜日までの設定内容が確認できます。
F4 ボタンで5～8パターンを表示します。

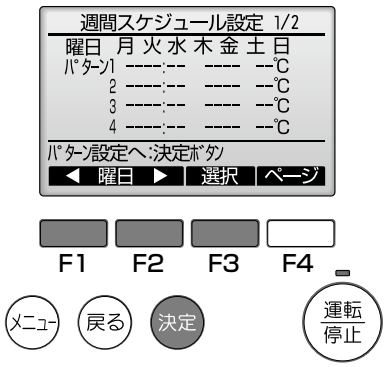
設定画面へ進むには決定ボタンを押します。

3

スケジュール設定無効/有効切換え画面が表示されます。

スケジュールを有効にする場合は、F3 F4
ボタンで「有効」を選択し、決定ボタンを押します。

4

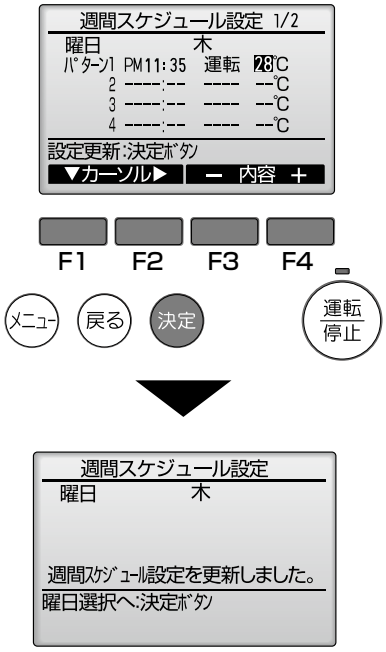


週間スケジュール設定画面が表示されます。
現在の設定状況が表示されます。
1日8パターンまで設定できます。

パターン設定を行う場合は、F1 F2 ボタンで曜日を選択し、F3 ボタンを押して設定する曜日を確定します。(曜日は複数選択できます)

ご希望の曜日に選択した後、決定 ボタンを押します。

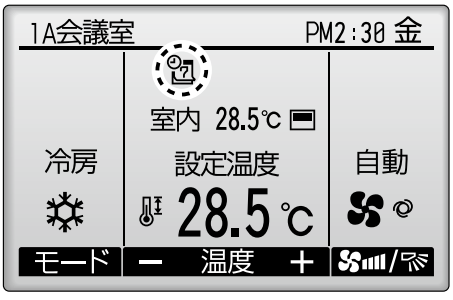
5



パターン設定画面が表示されます。
F1 ボタンでパターンを選択します。
F2 ボタンで「時刻」「運転/停止」「温度」を選択します。
F3 F4 ボタンでご希望の設定に切換えます。
■時刻　5分単位で設定
※ボタンを押し続けると連続で数字が変わります
■運転/停止　「運転」「停止」
■温度　設定範囲：接続される室内ユニットの設定可能温度範囲。(1℃単位)
ご希望の設定に切換えた後、決定 ボタンを押します。
設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

■設定更新･曜日選択画面に戻る…決定 ボタン
■メインメニュー画面へ戻る…メニュー ボタン
■前の画面に戻る…戻る ボタン



当日実行する週間スケジュール設定があるとき、
詳細メイン画面に「 」が表示されます。
オン / オフタイマー有効中は表示されません。

使用方法-各種設定操作

制限設定

P

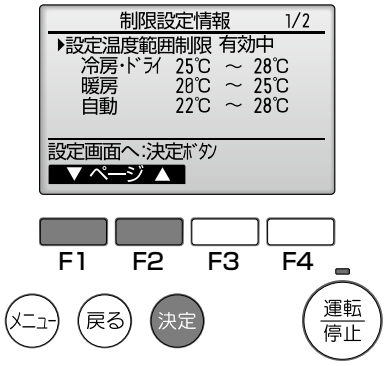
設定温度範囲制限の設定方法

操作方法

1

メインメニュー画面(10ページ参照)で「制限設定」を選択し、決定ボタンを押します。

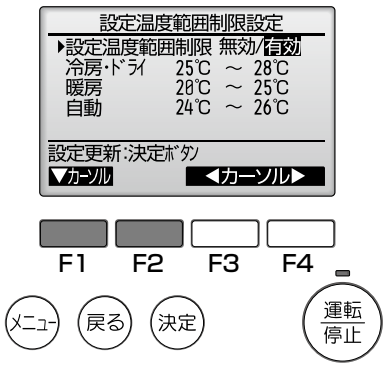
2



現在の設定状況が表示されます。

F1 F2ボタンで「設定温度範囲制限」を選択し決定ボタンを押します。

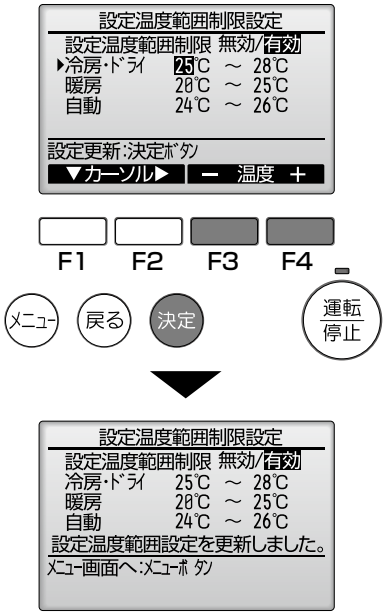
3



設定温度範囲制限設定画面が表示されます。

F1 ボタンで「設定温度範囲制限」「冷房･ドライ上下限値」「暖房上下限値」「自動上下限値」のうち、変更したい項目を選択します。

4



F3 F4 ボタンでご希望の設定に切換えます。

■設定温度範囲制限　「無効」「有効」

■冷房・ドライ上下限値(1℃単位)

■暖房上下限値(1℃単位)

■自動上下限値(1℃単位)

設定温度範囲制限の設定範囲

モード	下限値	上限値
冷房･ドライ	10～30℃	30～10℃
暖房	10～28℃	28～10℃
自動	10～28℃	28～10℃

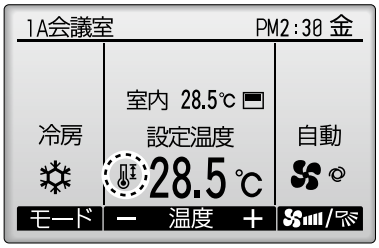
ご希望の設定に切換えた後、決定 ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

■メインメニュー画面へ戻る… メニュー ボタン

■前の画面に戻る… 戻る ボタン



設定温度範囲制限設定が有効の時、詳細メイン画面に「 」が表示されます。

使用方法-各種設定操作

制限設定

P

操作ロックの設定方法

操作をロックするときは
操作ロック設定を「有効」にしてください。

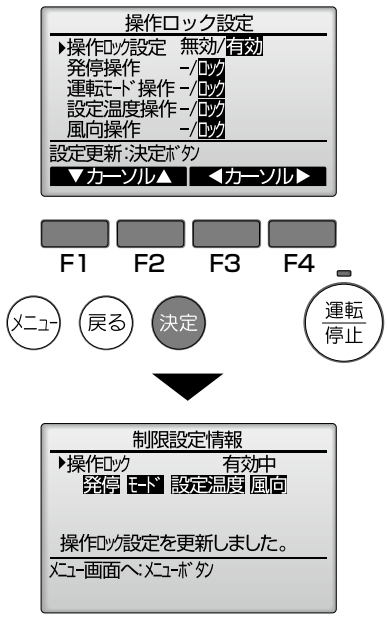
操作方法

1

制限設定画面を表示します。
（19ページ参照）

制限設定画面で「操作ロック」を選択し、
決定 ボタンを押します。

2

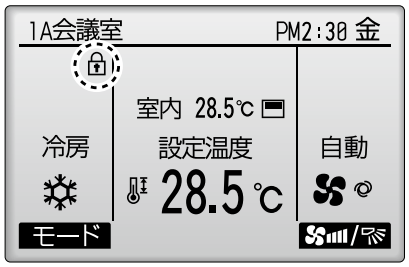


操作ロック設定画面が表示されます。
F1 F2 ボタンで「操作ロック設定」「発停操作」
「運転モード操作」「設定温度操作」「風向操作」
のうち、変更したい項目を選択します。

F3 F4 ボタンでご希望の設定に切換えます。
■操作ロック設定　「無効」「有効」
■発停操作　「－」「ロック」
■運転モード操作　「－」「ロック」
■設定温度操作　「－」「ロック」
■風向操作　「－」「ロック」

ご希望の設定に切換えた後、決定 ボタンを押します。
設定確定画面が表示されます。

画面移動方法
■メインメニュー画面へ戻る… メニュー ボタン
■前の画面に戻る… 戻る ボタン



（設定温度ロック時の画面例）

操作ロック設定が有効の時、詳細メイン画面に
「 」が表示されます。

操作ロックに対応する操作ガイドが表示されなくなります。

使用方法-各種設定操作

省エネ設定

主 P

設定温度自動復帰の設定方法

操作方法

1

メインメニュー画面（10ページ参照）で「省エネ設定」を選択し、決定ボタンを押します。

2

現在の設定状況が表示されます。

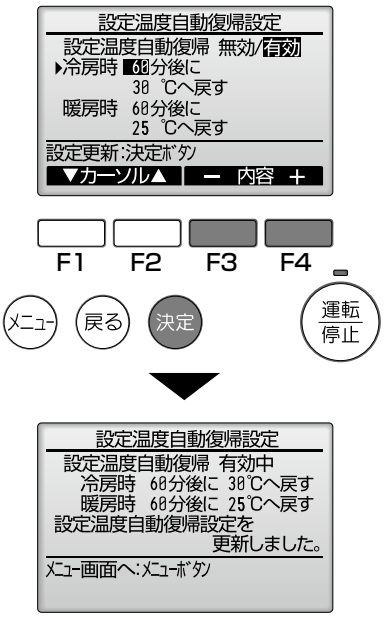
F1 F2 ボタンで「設定温度自動復帰」を選択し、決定 ボタンを押します。

3

設定温度自動復帰設定画面が表示されます。

F1 F2 ボタンで「設定温度自動復帰」「冷房時」「暖房時」のうち、変更したい項目を選択します。

4



F3 F4 ボタンでご希望の設定に切換えます。

■設定温自動復帰　「無効」「有効」

■冷房時　時間の設定範囲：30分～120分
（10分単位）

温度の設定範囲：19℃～30℃
（1℃単位）

■暖房時　時間の設定範囲：30分～120分
（10分単位）

温度の設定範囲：17℃～28℃
（1℃単位）

ご希望の設定に切換えた後、決定 ボタンを押します。
「冷房時」はドライ・自動冷房、「暖房時」は自動暖房を含みます。

設定画面が表示されます。

画面移動方法

■メインメニュー画面へ戻る…メニュー ボタン

■前の画面に戻る…戻る ボタン

設定温度範囲制限が有効中および集中管理中（禁止中の項目が「設定温度」の場合）は、本設定は実行されません。

使用方法-各種設定操作

省エネ設定

主 P

省エネ運転スケジュールの設定方法

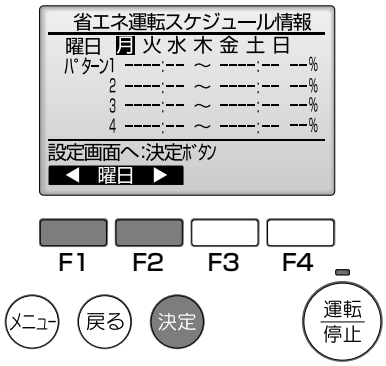
操作方法

1

省エネ設定画面を表示します。
(22ページ参照)

省エネ設定画面で「省エネ運転スケジュール」を選択し 、決定 ボタンを押します。

2



省エネ運転スケジュール画面が表示されます。

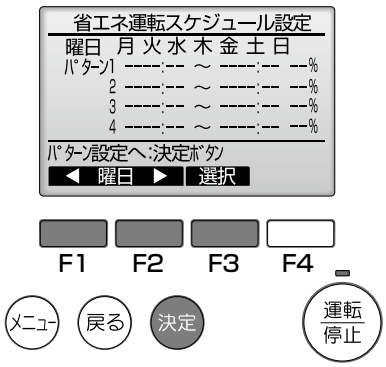
F1 F2 ボタンで月～日曜日までの設定内容が確認できます。
設定画面へ進むには 決定 ボタンを押します。

3

省エネ運転スケジュール無効 / 有効切換え画面が表示されます。

F3 F4 ボタンで「無効」か「有効」を選択します。
設定更新･曜日選択画面へ進むには 決定 ボタンを押します。

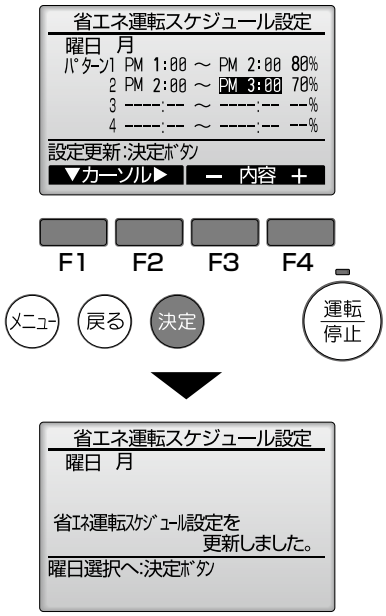
4



設定更新･曜日選択画面が表示されます。
1日４パターンまで設定できます。

パターン設定を行う場合は、F1 F2 ボタンで曜日を選択し、F3 ボタンで設定する曜日を確定します。(曜日は複数選択できます。)
パターン設定画面へ進むには 決定 ボタンを押します。

5



パターン設定画面が表示されます。
F1 ボタンでパターンを選択します。
F2 ボタンで左から「開始時刻」「終了時刻」「能力セーブ値」を選択します。
F3 F4 ボタンでご希望の設定に切換えます。

■開始時刻　5分単位で設定
※ボタンを押し続けると連続で数字が変わります

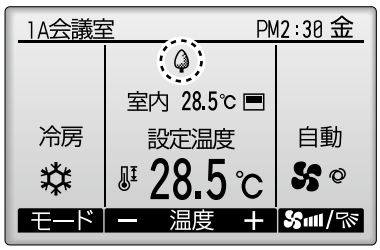
■終了時刻　5分単位で設定
※ボタンを押し続けると連続で数字が変わります

■能力セーブ値　設定範囲：90 ～ 50%、0%
10%単位で設定

ご希望の設定に切換えた後、 決定 ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

> 数値が低い程、省エネ効果が高くなります。



省エネ制御中は、詳細メイン画面に「 」が表示されます。

画面移動方法

■設定更新･曜日選択画面に戻る… 決定 ボタン
■メインメニュー画面へ戻る… メニュー ボタン
■前の画面に戻る… 戻る ボタン

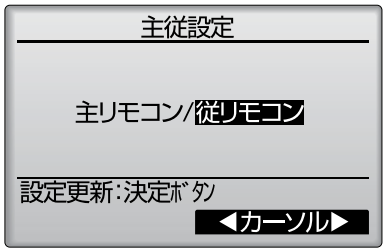
使用方法-各種設定操作

初期設定

主従設定

ペアリモコンで使用する時には必ず設定が必要です。
ペアリモコンのうち1台を従リモコンに設定してください。

操作方法



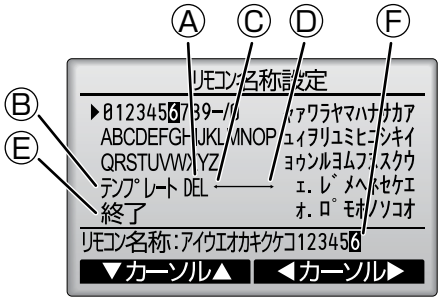
F3 F4 ボタンを操作すると現在選択している項目が反転表示されます。従リモコンを選択した後、決定 ボタンにより設定更新します。

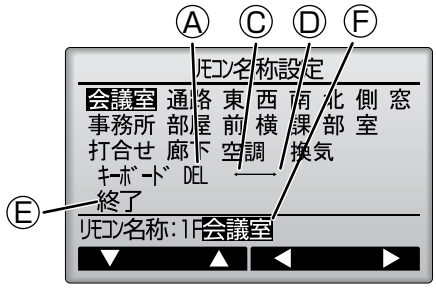
設定後、メニュー ボタンでメインメニュー画面に戻ります。(以降の操作も、メインメニュー画面に戻る方法は同じです)

リモコン名称設定

メイン画面に表示させる、リモコン名称の設定をおこないます。リモコン名称は半角16文字まで入力できます。(テンプレートで入力した文字は1文字あたり半角2文字分となります。)

操作方法





F1 ～ F4 ボタンにて文字を選択し、決定 ボタンで1文字ずつ決定します。
決定した文字を消去する場合は消去したい文字にカーソルを合わせて「DEL」Ⓐを選択し 決定 ボタンを押します。
「テンプレート」Ⓑを選択して 決定 ボタンを押すと、テンプレートを選択してリモコン名称を入力できます。(テンプレートは変更できません。)
「←」Ⓒ「→」Ⓓを選択すると、リモコン名称の文字入力カーソルⒻの文字が対象となり文字消去、変更ができます。

入力が完了したら、「終了」Ⓔを選択します。 決定 ボタンを押してリモコン名称を決定します。

使用方法-各種設定操作

メイン画面表示設定

操作方法

1

メインメニュー画面（10ページ参照）で
「初期設定」を選択し、決定ボタンを押します。

2

F1 F2 ボタンで、「メイン画面表示設定」を選択し、
決定 ボタンを押します。

3

F3 F4 ボタンで「詳細画面」「簡易画面」
（5ページ参照）のうちご希望の設定に切換えた後、
決定 ボタンを押します。

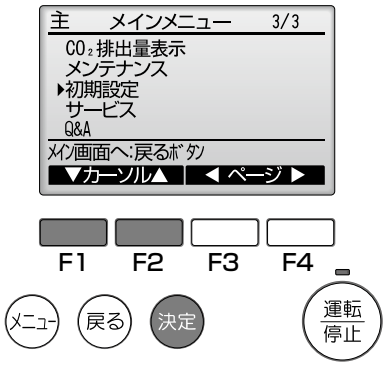
設定確定画面が表示されます。

画面移動方法
■メインメニュー画面へ戻る… メニュー ボタン
■前の画面に戻る… 戻る ボタン

コントラスト調整

操作方法

1

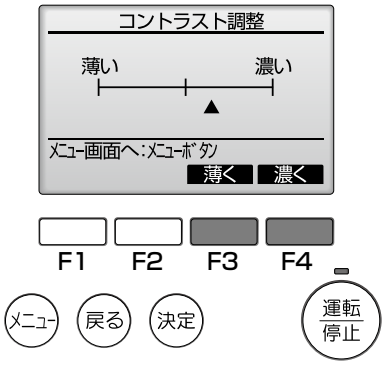


メインメニュー画面（10ページ参照）で
「初期設定」を選択し、決定 ボタンを押します。

2

F1 F2 ボタンで、「コントラスト調整」を選択し、
決定 ボタンを押します。

3



F3 F4 ボタンでご希望の設定に切換えた後、
メニュー または 戻る ボタンを押します。

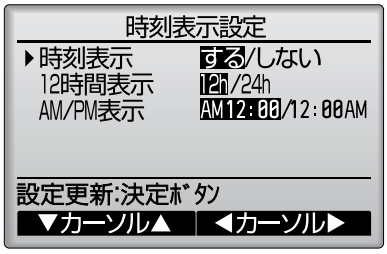
画面移動方法
■メインメニュー画面へ戻る… メニュー ボタン
■前の画面に戻る… 戻る ボタン

リモコン表示設定

時刻表示

操作方法

1



・リモコンの表示設定画面の、「時刻表示」にて F4 （変更）ボタンを押すと、時刻表示設定画面が表示されます。

・F1 ～ F4 ボタンにより、メイン画面に表示する時刻表示の有無、時刻表示形式を選択します。

・決定 ボタンにより設定を更新します。
（工場出荷時は表示する／”AM12:00表示”です。）

・時刻表示：する（メイン画面に時刻表示します）
：しない（メイン画面に時刻表示しません）

お知らせ

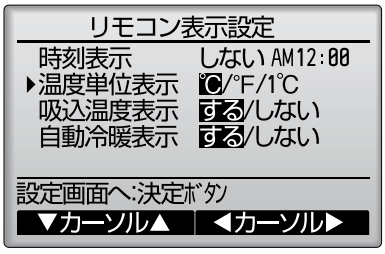
12時間表示形式、12時間／24時間表示はタイマー、スケジュールなどの設定表示にも反映されます。
12時間表示、24時間表示それぞれの表示例は以下の通りです。

12時間表示： AM12:00～AM1:00～PM12:00～PM1:00～PM11:59
24時間表示： 0:00～ 1:00～ 12:00～ 13:00～ 23:59

温度単位表示

操作方法

1



リモコン表示設定画面の、「温度単位表示」にカーソルを合わせ、F3 F4 ボタンにて設定します。
（工場出荷時は摂氏（℃）です。）

・℃ ：温度単位表示を摂氏表示にします。
室内ユニットの種類により表示単位を0.5℃または1℃単位で表示します。
・°F ：温度単位表示を華氏表示にします。
・1℃：温度単位表示を摂氏表示（1℃単位）にします。
従リモコンの場合には本項目は表示されません。

吸込温度の温度表示

操作方法

1

リモコン表示設定画面の、「吸込温度表示」にカーソルを合わせ、F3 F4 ボタンにて設定します。（工場出荷時は「する」です。）

・す る：メイン画面に室内温度を表示します。
・しない：メイン画面に室内温度を表示しません。

お知らせ

「する」に設定しても簡易画面には室内温度が表示されません。

自動冷暖表示

操作方法

1

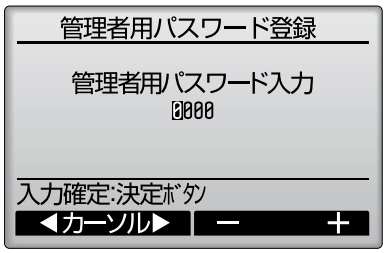
リモコン表示設定画面の、「自動冷房表示」にカーソルを合わせ、F3 F4 ボタンにて設定します。（工場出荷時は「する」です。）

・す　る：自動モード運転時、「自動冷房」または「自動暖房」が表示されます。
・しない：自動モード運転時、「自動」のみが表示されます。

管理者パスワード登録

操作方法

1

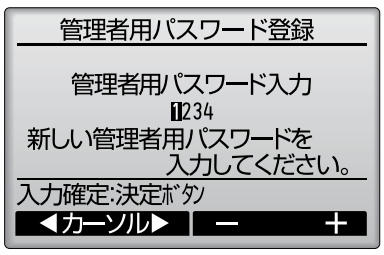


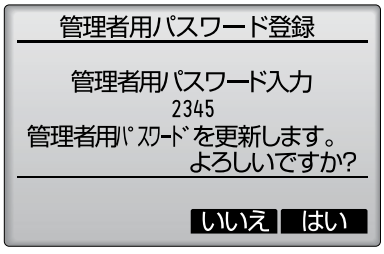
最初に現在設定されている管理者用のパスワード（数字4桁）を入力します。F1 F2 ボタンで桁を選択し F3 F4 ボタンにて0～9の数字を設定します。4桁のパスワードを入力後、決定 ボタンを押します。

お願い
管理者用パスワードの初期値は「0000」です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。パスワードは必要な方が分かるよう適切に管理してください。

お知らせ
管理者パスワードを忘れてしまった場合、管理者用パスワード登録画面にて F1 F2 ボタンを同時に3秒連続押しすると、パスワードを「0000」に初期化できます。

2





パスワードが一致すると新規パスワード入力画面になります。同じ要領で新しい管理者用パスワードを設定し、決定 ボタンを押します。

パスワード更新確認画面が表示されますので、F4 （はい）ボタンにて更新します。
取り消す場合は F3 （いいえ）ボタンを押します。

お知らせ
管理者パスワードは下記項目の設定時に必要となります。
・タイマー設定　・週間スケジュール設定
・室外サイレントモード設定　・制限設定　・省エネ設定
各設定の詳細は本リモコンの取扱説明書を参照してください。

● 運転のしかた もっと知りたいとき

暖房運転について

■暖房開始時に風が弱い:吹出し空気が一定の温度に達するまでは、吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切換わります。その間ワイヤードリモコンには“暖房準備中”と表示されます。
■風速が設定どおりにならない:室温が設定温度に達すると、風速は微風となります。
■風が出ない:ワイヤードリモコンに“暖房霜取中” 表示中は風を出しません。
■運転を停止しても風が出る:運転停止後約1分間室内ユニット内の余熱を排熱するために室内ファンがまわる事があります。

使用温度範囲

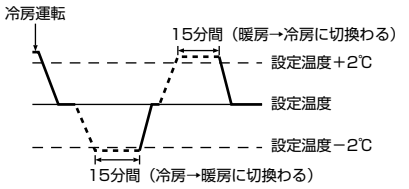
		栽培ハウス内	室　外
冷房･ドライ	乾 球 温 度	10℃～30℃	-5℃～43℃
	湿 球 温 度	10℃～30℃	———
暖　　房	乾 球 温 度	10℃～28℃	-20℃～21℃
	湿 球 温 度	———	-20℃～15℃

暖房霜取中とは

■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。霜取運転は約10分程度（最大15分）で終わります。
■霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。
またこの間は上下風向ベーンを水平吹きに自動設定します。霜取運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。

自動運転とは

■設定温度より室温が高い時は冷房運転を開始し、室温が低い時は暖房運転を開始します。
■自動運転中に室温が変化し設定温度より2℃以上高くなり、その状態が15分続くと冷房運転に切換わります。また、2℃以上低くなり、その状態が15分続くと暖房運転に切換わります。



省エネ運転とは

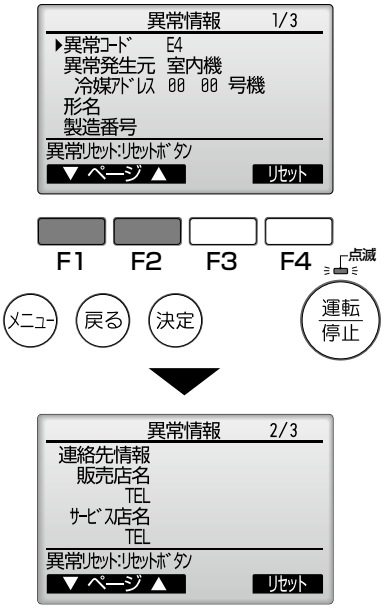
■消費電力を制限するデマンド制御を行います。

異常情報

異常が発生した場合、以下の異常画面が表示されます。
異常内容を確認の上、運転を停止しお買上げの販売店にご連絡ください。

操作方法

1

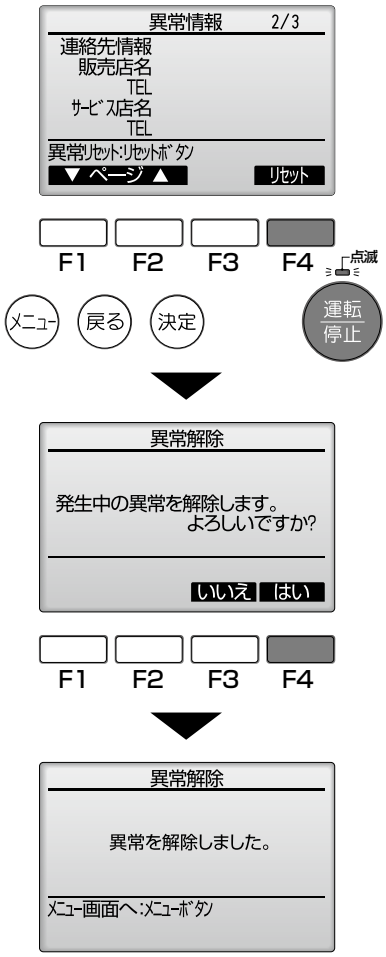


異常コード、異常発生元、冷媒アドレス、形名、製造番号が表示されます。
形名、製造番号はあらかじめ手入力されている場合に表示されます。

F1 F2 ボタンで次のページを表示します。

連絡先情報（販売店名、販売店の電話番号、サービス店名、サービス店の電話番号）が表示されます。
あらかじめ手入力されている場合に表示されます。

2



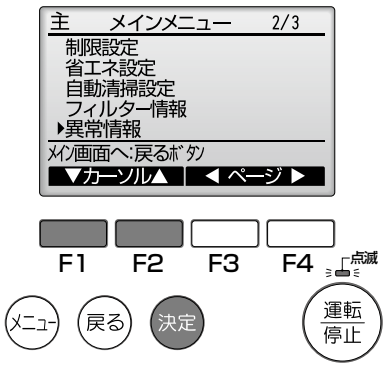
発生中の異常を解除する場合は F4 ボタンまたは 運転 / 停止 ボタンを押します。

運転 / 停止操作禁止中は異常解除できません。

F4 ボタンを押すと異常をリセットします。

画面移動方法
■メインメニュー画面へ戻る… メニュー ボタン

情報確認



異常が発生していない時、メインメニュー画面（10ページ参照）で「異常情報」を選択すると、異常情報画面の2/3、3/3ページの内容（32ページ参照）を確認することができます。
異常リセットはできません。

お手入れのしかた・困ったときに　「故障かな?」と思ったら

Q 故障かな?　A お答えします(故障ではありません)

Q よく冷えない。よく暖まらない。

A
- 温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
- 室外ユニットの周囲空間を広くあけてください。
  室外ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれていませんか?
- 窓やドアが開いていませんか?

Q 暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。暖房準備中表示がでる。

A
- 充分に暖かな風をおとどけするため準備中です。

Q 暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。

A
- 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。

Q 水の流れるような音や時々"プシュ"と音がする。

A
- エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。

Q "ピシッ、ピシッ"という音がする。

A
- 温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。

Q 室内ユニットより白い霧がでる。

A
- 室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。
- 霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。

Q 室外ユニットより水が出る。

A
- 冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。
- 暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。
- 霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出ることがあります。

Q リモコン表示部に の表示が出ている。

A
- の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止の操作が禁止となっています。

Q リモコン表示部に の表示が出ている。

A
- の表示が点灯中はリモコンでの運転モードの操作が禁止となっています。

Q リモコン表示部に の表示が出ている。

A
- の表示が点灯中はリモコンでの設定温度の操作が禁止となっています。

Q 再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したが動かない。

A
- 約3分間お待ちください。
  (エアコンを保護するため、止まっています)

Q 運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。

A
- 入タイマー運転をしていませんか?
  運転・停止ボタンを押して停止してください。
- 遠方コントロールが接続されていませんか?
  運転を指示したところへ連絡・確認してください。
- の表示が点灯していませんか?
  運転を指示したところへ連絡・確認してください。
- 停電自動復帰を設定していませんか?
  運転・停止ボタンを押して停止してください。

Q 運転・停止ボタンを押さないのに停止した。

A
- 切タイマー運転をしていませんか?
  運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。
- 遠方コントロールが接続されていませんか?
  停止を指示したところへ連絡・確認してください。
- の表示が点灯していませんか?
  停止を指示したところへ連絡・確認してください。

Q リモコンのタイマー運転がセットできない。

A
- タイマー設定が無効となっていませんか?
  タイマー設定がセット可能なときは、、 のいずれかが表示されています。

Q リモコンに"Please Wait"の表示が出る。

A
- 初期設定(約3分)を行っているためです。

Q リモコンにエラーコードが表示される。

A
- 空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
  ※自分では絶対に修理しないでください。
  エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

お手入れのしかた

お手入れのまえに　■必ず、電源を「切」にしてください。

室内ユニット、リモコンの清掃

■やわらかい布でから拭きをしてください。
■リモコン線をひっぱったり、ねじったりしないでください。
　また、リモコンケースは取外さないでください。
■手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤(食器用または洗濯用)を使用し、中性洗剤が残らないようにふき取ってください。
■ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

1 4～5時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。

■不衛生な「カビ」などが発生して室内に飛散し体調悪化や健康を損なう原因となることがあります。

2 エアコンの電源を切る。

■電源が入っていると数ワット～数十ワットの電力が消費されます。

再度使い始めるとき

■下記作業 **1** ～ **4** の点検を行い、異常の無いことを確認後、電源を入れてください。

1 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。

2 アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。

3 ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。

4 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。
（電源を入れる場合は、必ず外気温度が−20℃より高い条件で実施ください。）

⚠ 注　意	アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しない。 アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。アース工事を行う場合は販売店にご相談ください。

移設・工事について

移設・廃棄について

⚠警告	**据付や移設などの場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。**
	●空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。

⚠警告	**当社指定の冷媒（R410A）以外は絶対に封入しない。**
	●法令違反の可能性や、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災などの発生の恐れがあります。 ●封入冷媒の種類は、機器付属の説明書あるいは銘板に記載されています。 ●それ以外の冷媒を封入した場合の故障・誤動作などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。

■増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。

この製品はフロン回収・破壊法・第一種特定製品です。

■フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。

■この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、必ず専門の回収業者に依頼してください。

据付場所について

⚠ 注　意	●可燃性ガスの洩れる恐れのある場所には据付けない。万一ガスが洩れて、ユニットの周囲にたまると爆発の原因になります。

次の場所への使用は避けてください。

■可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ

■硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど機器に影響する物質の発生するところ〈温泉地、化学薬品工場、下水処理場、動物飼育室、メッキ工場など〉
熱交換器（アルミフィン、銅パイプ）などに腐食を起こす恐れがあります。

■機械油を使用するところ〈加工油を用いプレスや切削をする機械工場など〉
送風機や熱交換器の機能低下を生じ製品寿命が著しく低下します。

次の環境でご使用の際は、使用を避けるか販売店へご相談ください。（室内ユニット）

■食用油を使用するところ〈厨房など〉
プラスチック部品の破損が生じます。

■湿気の多いところ
冷房時に結露しやすくなります。

■高周波を発生する機械（高周波ウェルダー、医療機器、通信機器など）を使用するところ
通信異常やマイコン誤動作の恐れがあります。ノイズ発生源を遮断した上で施工してください。

海浜地区・積雪地区における設置に関するご注意（室外ユニット）

■海浜地区等塩分の多いところ
使用を避けるか、耐塩害／耐重塩害仕様室外ユニット（受注品）をお求めください。

■積雪の多いところ
室外ユニットへの雪の侵入を防ぐため、防雪ダクト、防雪フードを取付けてください。（別売として用意しています。）

室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれの原因になります。

電気工事について

⚠ 注　意	●アース工事を行う。 アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアースに接続しない。 アース工事に不備があると、感電の原因になります。
	●据付場所（水気のある場所など）によっては、漏電遮断機を取付ける。 漏電遮断機が取付けられていないと、感電の原因になります。

■電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」及び据付工事説明書に従って施工してください。

■電源は必ずエアコン専用回路にしてください。
他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。

■ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

運転音にも配慮を

■据付けにあたっては、エアコンの質量に充分に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。

■室外ユニットの吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。

■室外ユニットの吹出口の近くには物を置かないでください。
性能低下や運転音増大のもとになります。

保証とアフターサービス

●「修理・取扱い・お手入れ」などのご相談は、お買上げの販売店・施工者・設備業者へお申しつけください。
●お買上げ先へご依頼できない場合は「修理窓口・ご相談窓口」（37ページ参照）へお問い合わせください。
●エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。
●この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保　証　書

■本取扱説明書の末尾に保証書を記載してあります。
セットでお買い上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
■保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
■保証期間中でも有償になる場合がありますので保証書をよくお読みください。

保証期間…お買上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。

重要 空調機故障に起因した作物の枯れや傷み、営業補償などの2次補償はいたしませんので、事前に損害保険に加入することをお勧めします。

補修用性能部品の保有期間

■パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後9年です。
■補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

“「故障かな?」と思ったら”（34ページ参照）に従ってお調べください。なお、不具合のあるときは、必ず電源を切ってからお買上げの販売店にご連絡ください。
■保証期間中は
修理に際して、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。
■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料+部品代+（出張料）などで構成されています。
■ご連絡いただきたい内容

1.品名	ぐっぴーバズーカ
2.形名・製品番号	室内ユニットは、室内製品銘板に記入してあります。 室外ユニットは、室外製品銘板に記入してあります。
3.お買上げ日	○○年○月○日
4.故障の状況	できるだけ詳しく （リモコンのエラー表示記号なども）
5.ご住所	付近の目印なども
6.お名前・電話番号	

■点検と保全周期の目安［保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］
●表1.「点検周期」及び「保全周期」の一覧

主　要　部　品　名	点検周期	保全周期［交換または修理］
圧縮機	1年	20,000時間
モーター（ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など）		20,000時間
ベアリング		15,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年
膨張弁		20,000時間
バルブ（電磁弁、四方弁など）		20,000時間
センサー（サーミスタ、圧力センサーなど）		5年
ドレンパン		8年

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。

上表は次の使用条件が前提となります。
①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
（機種によりことなりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
②製品の運転時間は、10時間／日、2500時間／年と仮定しています。
（夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。）
また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」及び「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
②電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所でご使用される場合（許容範囲外での使用はできません。）
③振動、衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合。
④塵埃、塩分、亜硫酸ガス及び硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
⑤頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。（24時間空調など）

■消耗部品の交換周期目安［交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

●表2.「交換周期」の一覧

主　要　部　品　名	点検周期	交換周期
平滑コンデンサー	1年	10年
ヒューズ		10年

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

適用除外項目（有償）

保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
①修理/修復作業範囲以外の修理・部品修復並びに意匠関連範囲（パネル・飾り枠・グリル）の塗装・メッキ直しサビ落とし・修理・部品修復・清掃。
②熱交換器・ドレンパン等の洗浄。
③消耗部品の調達・交換および調整・修復。
④弊社電機設備機器の標準外部品・機器の修理・修復。
⑤基礎および架台・電源設備など、付帯設備の修理・修復。
⑥現地工事区分のドレン配管および冷媒配管・配線・カバー（断熱）等の修理・修復。
⑦天災地変、火災、労働争議などに起因して生じた事故の修復。
⑧取扱不良に起因して生じた故障の修理・修復。
⑨改造または移設に起因して生じた故障の修理・修復。
⑩保全提案（ドレン詰まり等の定期的清掃など）するも改善できない事項に起因して生じた故障の修理・修復。
⑪修理に伴う建物躯体の修理・修復。
⑫定期点検。
⑬カタログ・マニュアル等で弊社が指定する条件外の設置および使用を行った場合。
⑭熱交換器の腐食、ケーシング脱落、部品のサビなどの保守・交換・調整修復作業。
⑮室外ユニットの高所設置等におけるクレーン車使用・足場組立てなど本体修理以外に発生する費用。
⑯その他メーカー保証の規定項目に明記無き項目。
⑰弊社電機設備機器の故障に起因した営業補償等の二次的補償。
⑱硫黄系、塩素系、有機酸等を含め農薬、直射日光が当たる場所の設置、太陽熱消毒による熱交換器、配管の腐食、プラスチック部品の破損等の保守・交換・調整修復作業。
＊設備機器とは、栽培ハウス向専用空調機および除湿専用機を示します。

クボタ修理窓口・ご相談窓口のご案内

ぐっぴーバズーカのメンテナンス・アフターサービスに関するご相談・お問い合わせはこちらへ

株式会社クボタメンテナンス協力会社

メンテナンス総合受付

菱電商事株式会社(北関東支社)

TEL **0120-165-512**

FAX **0120-475-522**

(24時間365日対応可能)

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

株式会社クボタは、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合せ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。

2.上記利用目的のために、お問合せ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。

3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。

①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。

②法令等の定める規定に基づく場合。

4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

販売元

株式会社イーズ

本社 〒105-0004　東京都港区新橋4-7-2　第六東洋海事ビル6F

☎03-5777-1800

製造元

株式会社クボタ　空調事業ユニット

〒103-8307 東京都中央区京橋2丁目1-3　☎03-3245-3130(代)

クボタ空調株式会社

〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地28-1　☎028-661-3100(代)

仕　様

室内ユニット仕様表　ヒートポンプ冷暖房兼用セパレート形・空冷式・直接吹出形

形名		GI-P112
騒音:強一弱	dB	69-59
風量:強一弱	m^3/min	83-57
外形寸法(高さ×巾×奥行)	mm	920×950×330(+211)
質量	kg	52

様式1 冷媒漏えい点検記録簿(汎用版)　　年　月　日 ～　年　月　日

管理番号	

施設所有者				設備製造者					
施設名称		系統名		設置年月日					
施設所在地		電　話		使用機器	型式		製品区分		
運転管理責任者		電　話			製番		設置方式	現地施工	
点検事業者 会社名		責任者			用途	空調用	検知装置		
点検事業者 所在地		電　話		冷媒量(kg)	合計充填量	合計回収量	合計排出量	排出係数(%)	
使用冷媒	R410A	初期充填量(kg)		点検周期	基準		実績(月)		

作業年月日	点検理由	充填量(kg)	回収量(kg)	監視・検知手段(最終)	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	チェックリストNo.	確認者

●JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検(保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む)(いずれも有償)をお願いいたします。
定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理(管理委託を含む)をお願いいたします。
なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。*JRA:社団法人　日本冷凍空調工業会
・JRA GL-14について、http://www.jraia.or.jp/index.html
・フロン漏えい点検制度について、http://www.jarac.or.jp/roei/

●フロンの見える化

室内機および室外機に表示されている左記のシンボルマークは、パッケージエアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることをご認識いただくための表示です。
この製品はフロン回収破壊法の第1種特定製品です。廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第1種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。
室内機に表示されているフロン類の二酸化炭素換算値は、一般的な組合せ(室外機1台／室内機1台)での、冷媒配管長20mを想定した冷媒量を元にしています。
システム全体でのフロン類の二酸化炭素換算値は、室外機に表示されています。(10.3ton～16.1ton)

●長年ご使用のエアコンは点検を!

●パッケージエアコン補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後9年です。

ご使用の際このようなことはありませんか	●運転音が異常に大きくなる。 ●室内ユニットから水が漏れる。 ●電源が頻繁に落ちる。 ●その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中　止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

ぐっぴーバズーカ(ツインタイプ)　保証書

品名		ぐっぴーバズーカ
型式（いずれかを○で囲んでください）		KBHP-GP180-T・KBHP-GP180-TH・KBHP-GP112-S・KBHP-GP112-SH
保証期間		※お買い上げ日　　年　　月　　日から1年間
お客様	ご住所	〒　　-
	お名前	（ふりがな）
	TEL	市外局番　　（　　）

販売店※	ご住所	〒　　-
	店名	ご担当者様:
	TEL	市外局番　　（　　）
販売元		**株式会社イーズ** 〒105-0004　東京都港区新橋4-7-2　第六東洋海事ビル6F ☎03-5777-1800
製造元		**株式会社クボタ　空調事業ユニット** 〒103-8307　東京都中央区京橋2丁目1-3　☎03-3245-3130(代) **クボタ空調株式会社** 〒321-0905　栃木県宇都宮市平出工業団地28-1　☎028-661-3100(代)

本保証書は、本書記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用状態で、お買い上げの日から上記の期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理をさせていただきます。

●本書の※印欄に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。
●本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
●本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
●セットでお買い上げになった室内ユニット･室外ユニット･リモコンを保証します。

無料修理規定

1.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
（ハ）火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
（ニ）本書のご提示がない場合。
（ホ）本書にお客様名、お買い上げ日、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
（ヘ）車両、船舶などに搭載された場合生じる故障および損傷。
（ト）据付工事による故障および損傷。
（チ）ドレン詰まりによる故障および損傷。
2.保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上出張修理に際して本書をご提示ください。
なお、離島又は離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3.お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
4.ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
5.据付場所の変更に際しては、お買い上げの販売店にご相談ください。
6.この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は最寄りの「修理窓口･ご相談窓口」にご相談ください。
7.保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間につきましては詳しくは取扱説明書をご覧ください。